




ADD
Advanced Developmental
Disorders Support

＜全体研修①＞
ABAの基礎
DTTマスターになろう


特定非営利活動法人ADD

Copyright 2018 ADDS. All rights reserved.

ご挨拶



ADD

<p>情報発信事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ●情報発信サイト運営 ●プログラムの成果開示 ●シンポジウム・講演会 	<p>保護者研修・家庭療育サポート事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ●効果的な早期支援プログラムの開発・提供 ●セラピスト紹介 ●研究開発・成果分析 ●プログラムのパッケージ化 	<p>支援者育成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ●学生セラピスト養成 ●家庭療育サポーター養成 ●他機関への研修プログラム提供 
---	--	---

mission

発達障がいがあるお子さんの可能性を最大限に高め、豊かな生活が送れる社会の実現

Copyright 2017 ADDS. All rights reserved.

ADDのプログラムは・・・

- 発達心理学**
人の生涯の発達を通じて、その心身のはたらきをどのように変化させていくか、その発達をどのように支援すればよいかなどを研究する学問です。
- 応用行動分析学**
人間の行動を科学的に研究し、人間理解・人間生活の様々な課題解決に取り組む学問です。人間の「行動」を「環境」との相互作用の視点から捉えます。

Copyright 2017 ADDS. All rights reserved.

ADDのプログラムで大事なこと

①質の高い課題構成と直接支援




②保護者の主体的な療育への参加



Copyright 2017 ADDS. All rights reserved.

〈テーマ1〉 ABAの基礎理論




Copyright 2018 ADDS. All rights reserved.

エビデンスは既に出ている

国内外の研究により、自閉スペクトラムの子ども達の言語・認知・行動問題、社会性等の発達を促進する具体的な方法論は明らか

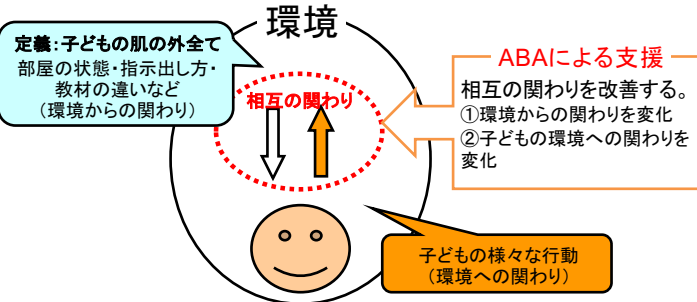
- (1) 保護者の療育への適切な関わりを支援すること
(Roberts et al., 2011; Lovaas, 1987; Osborne et al., 2008)
- (2) ABAに基づく集中性をもった個別かつ早期の介入
(Lovaas, 1987; Sallows & Graupner, 2005; Smith et al., 2000; Eldevik et al., 2006; Peters-Scheffer et al., 2010)
- (3) 社会性や発達の観点を重視した療育プログラム (Koegel & Koegel, 2006; Dawson et al., 2010)
- (4) 早期療育の効果は個人差がある (Sallows & Graupner, 2005; Sherer & Schreibman, 2005)



アメリカでは約40州で自閉症児の療育として
保険適用されている Pearson(2007)
800 pages


応用行動分析 (Applied Behavior Analysis)


- ABAとは
 - ・ 行動の法則性を明らかにする基礎学問「行動分析学」から派生した心理学
 - ・ 科学的・客観的な方法論 (= 思想や理念)
 - ・ 行動の原因を「心の中」でなく、「個人と環境の関わり」に求める。



Copyright 2018 ADDS. All rights reserved.

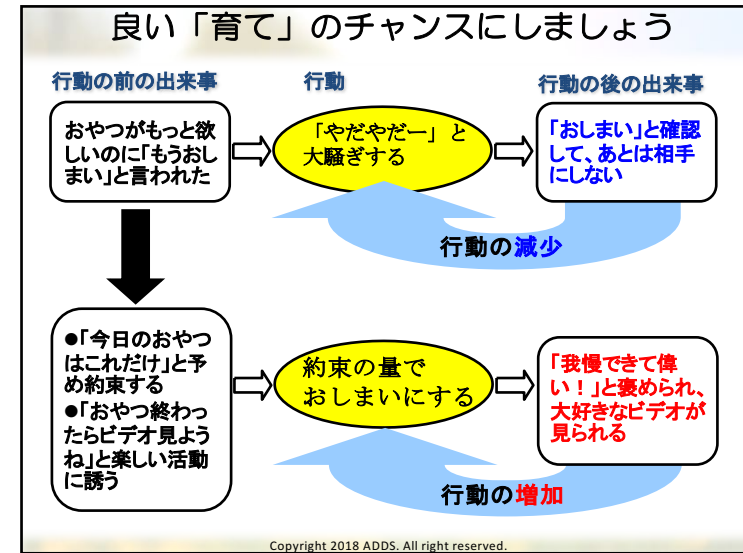
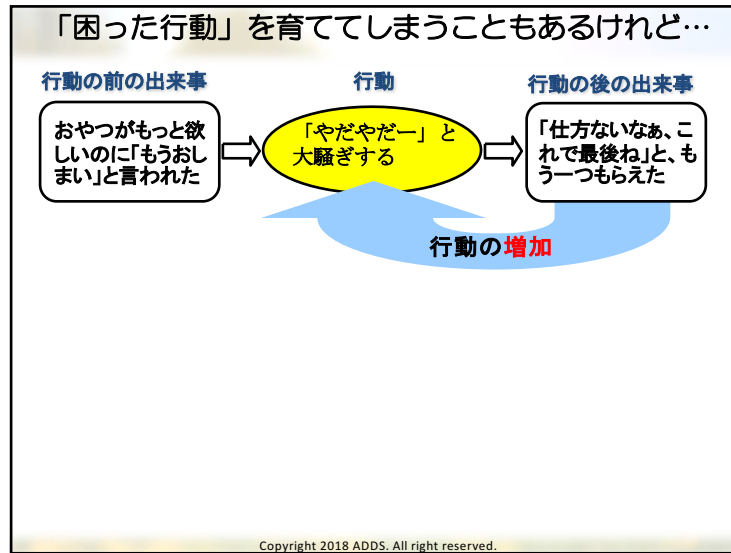
「ほめること」は「育てること」





行動の前に、行動を起こすきっかけがあり、行動を起こした結果、良いことが起きると、その行動が増加します。

Copyright 2018 ADDS. All rights reserved.



<DTTの導入>
子どもたちの世界を想像しよう！

Copyright 2018 ADDS. All rights reserved.

感覚世界の体験

<使用するもの>

- 特製メガネ...視野の狭くなる体験
- 集音器...いろんな音を拾ってしまう、聴覚過敏の体験

視覚的な情報の処理が普段とちがってうまくいかない困り感、音が聞こえすぎること、作業に集中しにくい感覚、手と目の協応がうまくいかない感覚などは、LDやADHDなどその他の発達障がい困り感について想像していただくきっかけにもなります。

Copyright 2017 ADDS. All rights reserved.



National Autistic Society <https://www.autism.org.uk/get-involved/campaign.aspx>
 "Can you make it to the end?" <https://www.youtube.com/watch?v=aPknwW8mPAM>
 「自閉症-学ぶ機会を選してきた子どもたち」
<https://news.yahoo.co.jp/byline/takeuchiuno/20161013-00063202/>



発達が気になる子どもたち

- 59人に1人※1
- 6.5%の割合で通常学級に在籍する※2

その症状のあらわれ方は、個人差が大きく、個に合わせた支援が必要






先天的な脳の機能のちがいで生まれてからの環境や育て方のせいではない

でも、これからどう関わるか？でその発達状況は大きく変わる！

※1 2014年 米疾病管理予防局 (Centers for Disease Control and Prevention; CDC) による調査
 ※2 2012年 文部科学省「通常の学級に在籍する発達障害の可能性のある特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査」

Copyright 2017 ADDS. All rights reserved.

感覚の特異性とは

 鈍感		 敏感
読み飛ばしが多い キャッチボールが苦手	 視覚	フラッシュなどが苦手 電気がまぶしい
ケガをしても気づかない 距離がつかめず近すぎる	 触覚	服の素材などにこだわる くすぐりを嫌がる
名前を呼ばれても 気づかない	 聴覚	大きな音が苦手 ざわざわした場所が苦手

Copyright 2017 ADDS. All rights reserved.


* 大切なのは、個々に合った学びの機会をつくること

子どもは、見え方や感じ方を、上手く言葉で伝えられません。


あなたは、子どもの感じ方を知りません。

①想像力を持って子どもと関わる
②個々の特徴に合った目標設定と教え方

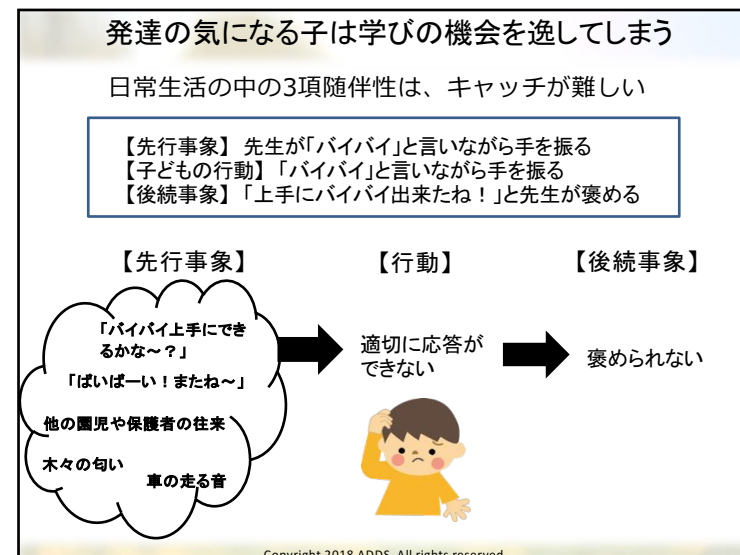
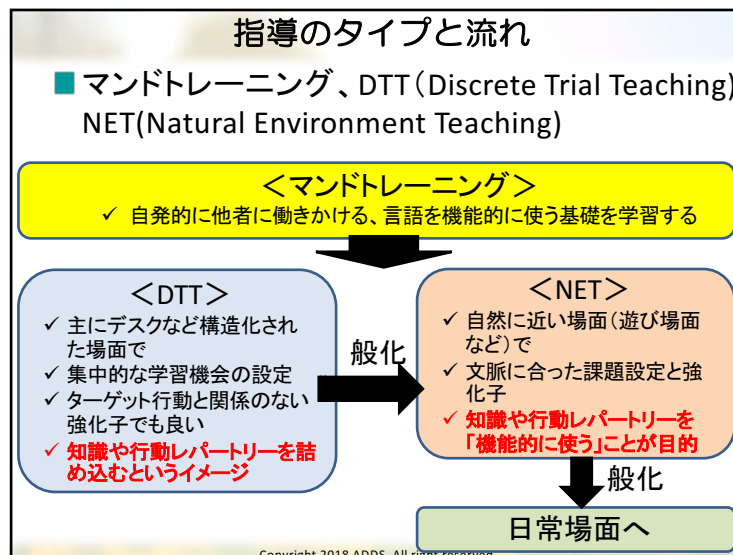
例: ダメと言っているのに何度も繰り返す。
*言うことを聞かない困った子!
○なぜダメなのか、どうすればいいかわからないのかも。実はこの子も困っているのかな...



<テーマ2> DTTマスターになろう!



Copyright 2018 ADDS. All rights reserved.



DTTで学習の機会を増やそう！

DTT (Discrete Trial Teaching)

- ▶ 日常場面より簡潔な「先行事象」と「後続事象」を整え
- ▶ ターゲット行動を明確にする。
- ▶ 分かり易い3項随伴性を素早く繰り返すことで、集中的に学習の機会を設定する。

【先行事象】 【行動】 【後続事象】

音声「バイバイ」 手を振る 上手！！

動作手を振る ➡ ➡ くすぐり



Copyright 2018 ADDS. All rights reserved.

療育支援システムAI-PAC

(ABA integrated Programs for Autism speCtrum disorders)
ADDsと慶應義塾大学が共同開発した発達障害児に対するエビデンスに基づいた包括的早期療育プログラム
行動的・発達的な観点による5領域600個を超えるカリキュラムリスト

学習基盤	コミュニケーション	アカデミック	視覚・運動	社会スキル
働きかけ応答 注意の持続 強化子 自己統制 模倣	前言語 要求 受容 叙述 会話	数 文字 文法	視覚情報処理 運動	社会性 生活スキル スクールスキル


最新の知見
に基づき進化する
流動的なプログラム


国内外の7つの介入プログラムを包括し再構成した

- ・A Work In Progress (Leaf, McEachin, & Harsh, 1999)
- ・STAR Program (Aricke, Loos, Falco, & Krug, 2004),
- ・Teaching Developmentally Disabled Children-The Me Book
- ・Pivotal Response Treatments for Autism Communication & Koegel, 2006)
- ・Teaching Language to Children with Autism or Other Developmental Disabilities (Partington, 1998),
- ・Picture Exchange Communication System (PECS; Bondy & Frost, 2001)
- ・認知発達治療の実践マニュアル-自閉症のStage別発達課題- (太田・永井, 1992)


22

発達の包括的な俯瞰図





療育用の教材



療育のモデル動画

Copyright 2018 ADDS. All rights reserved.

フルオーダーメイドの記録シート

課題セット - 2019/01/19

項目	内容	達成状況	備考
1. 名前を呼ぶと振り返る	20秒以上を目安に振り返る。		
2. 名前を呼ぶと手を振る	20秒以上を目安に手を振る。		
3. 名前を呼ぶと手を叩く	20秒以上を目安に手を叩く。		
4. 名前を呼ぶと手を擦る	20秒以上を目安に手を擦る。		
5. 名前を呼ぶと手を握る	20秒以上を目安に手を握る。		
6. 名前を呼ぶと手を握る	20秒以上を目安に手を握る。		
7. 名前を呼ぶと手を握る	20秒以上を目安に手を握る。		
8. 名前を呼ぶと手を握る	20秒以上を目安に手を握る。		
9. 名前を呼ぶと手を握る	20秒以上を目安に手を握る。		
10. 名前を呼ぶと手を握る	20秒以上を目安に手を握る。		

Copyright 2018 ADDS. All rights reserved.

ポイント

ポイント① 注意をよく引く

- ◆注意のコントロールが難しい子どもも多い。
- ◆注意が指導者に向いていないときに指示を出してしまっは、子どもが正しく反応できないリスクが高い。
- ◆言葉に頼りすぎない。
 - ×「○○ちゃん！見て！こっちこっち！見てないよ！」

注意を引く方法の例)

- 注意が向くのを静かに待つ
- カウントダウン
- 「タッチ」などの簡単な課題で流れを付ける
- 身体接触
- 好きな物を見せる（※最終手段なので多用しない）

Copyright 2018 ADDS. All rights reserved.

ポイント② 分かり易い指示と教材提示

複雑な言葉の理解は難しい子どもも多い。

◆声を大きくはっきりと

- ×小さな声→注意を向けにくい
- はっきりした声→注意を向けやすい

◆短く簡潔に

- ×長いことば→どこをしっかりと聞けばよいか混乱
- 簡潔なことば→どこを聞けばよいか、分かりやすい

◆子ども目線で

- ×小さい動作や見にくいカード→答えにくい
- 大げさな動作や見やすいカード→答えやすい

Copyright 2018 ADDS. All rights reserved.

ポイント③ 正答したらすぐ強化

- ◆適切な行動の後に強化子が提示されることで、その行動が増加する。
- ◆正答の後すぐに、盛大に褒める
- ◆褒めたつもりにならない。子どもが本当に喜ぶ強化を！
- ◆同じ強化子を使い続けると必ず飽和化する。強化子にはバリエーションを！

強化子の例)

- くすぐり
- 高い高い
- ハイタッチ
- 音や光の出るおもちゃ
- 好きなキャラクターを描いてあげる
- お菓子や飲み物
- …

Copyright 2018 ADDS. All rights reserved.

実施する課題

①模倣：セラピストの動作の真似をする課題

指示：「こうして」+動作（頭触る）
正反応：大人と同じ動作をする（頭触る）

②受容言語（名詞）：指示された物を選ぶ課題

指示：絵カードを並べる+「○○ちょうだい」
正反応：言われた物を選んで渡す

③タクト（名詞）：ものの名前を言う課題

指示：「これなに？」+絵カード
正反応：その名称を言う



Copyright 2018 ADDS. All rights reserved.

①模倣:セラピストの動作を真似する



②受容言語(名詞):指示された物を選ぶ



③タクト(名詞):物の名前を言う



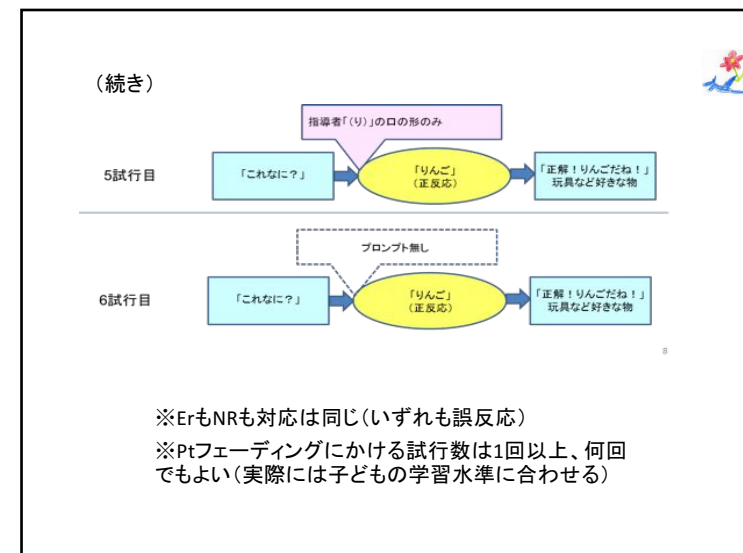
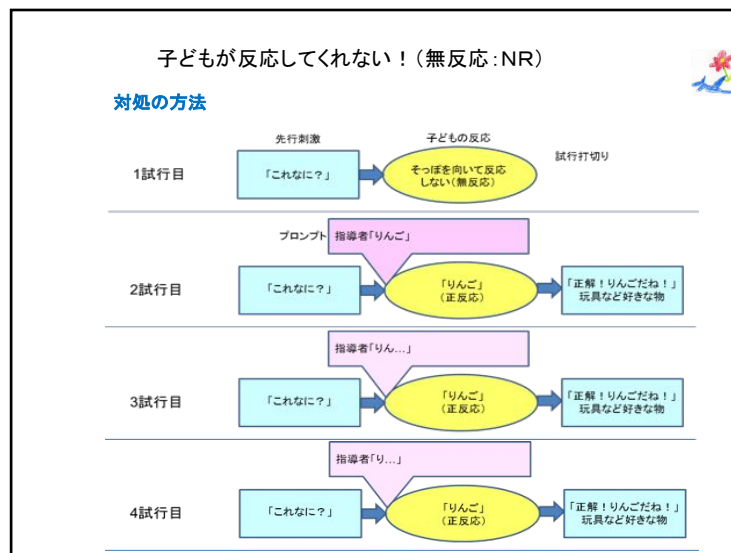
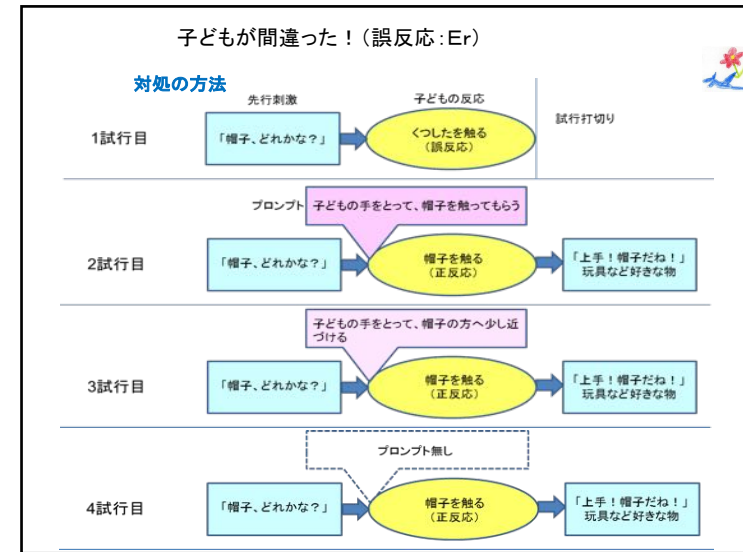
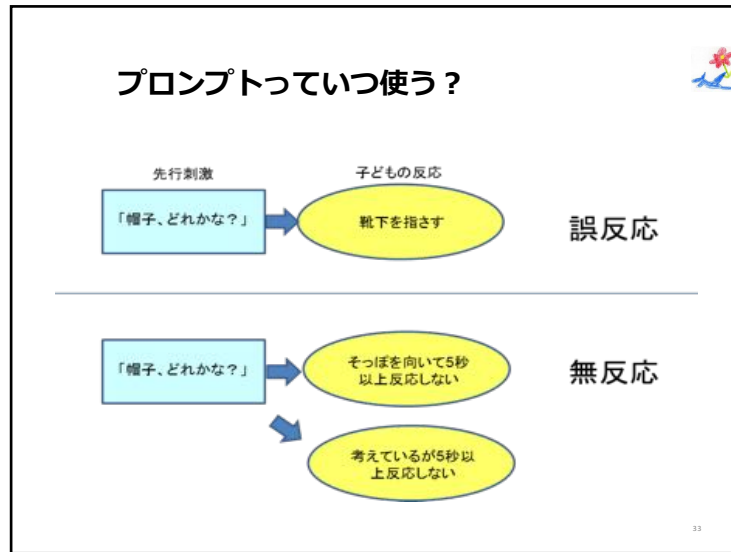
ポイント④ お助けヒント(プロンプト)

- ◆子どもが確実に正答し、成功体験につながるよう、お助けヒントを出す。=「**プロンプト**」
- ◆プロンプトを使うとき:
①未学習の課題のとき ②無反応 ③誤反応
- ◆黒子のように、さりげなく。
- ◆プロンプトは徐々に少なくしていく。
=「**フェーディング**」

プロンプトの例)

- 身体プロンプト (身体ガイダンス)
- 音声プロンプト
- 視覚プロンプト

Copyright 2018 ADDS. All rights reserved.



実施する課題

①模倣:セラピストの動作の真似をする課題

指示:「こうして」+動作(頭触る)

正反応:大人と同じ動作をする(頭触る)

②受容言語(名詞):指示された物を選ぶ課題

指示:絵カードを並べる+「〇〇ちょうだい」

正反応:言われた物を選んで渡す

③タクト(名詞):ものの名前を言う課題

指示:「これなに?」+絵カード

正反応:その名称を言う



Copyright 2018 ADDS. All rights reserved.

①模倣:セラピストの動作を真似する(誤反応)

模倣 (誤反応)



②受容言語(名詞):指示された物を選ぶ(無反応)

受容言語 (無反応)



③タクト(名詞):物の名前を言う(誤反応)

タクト (誤反応)



ご清聴ありがとうございました！

